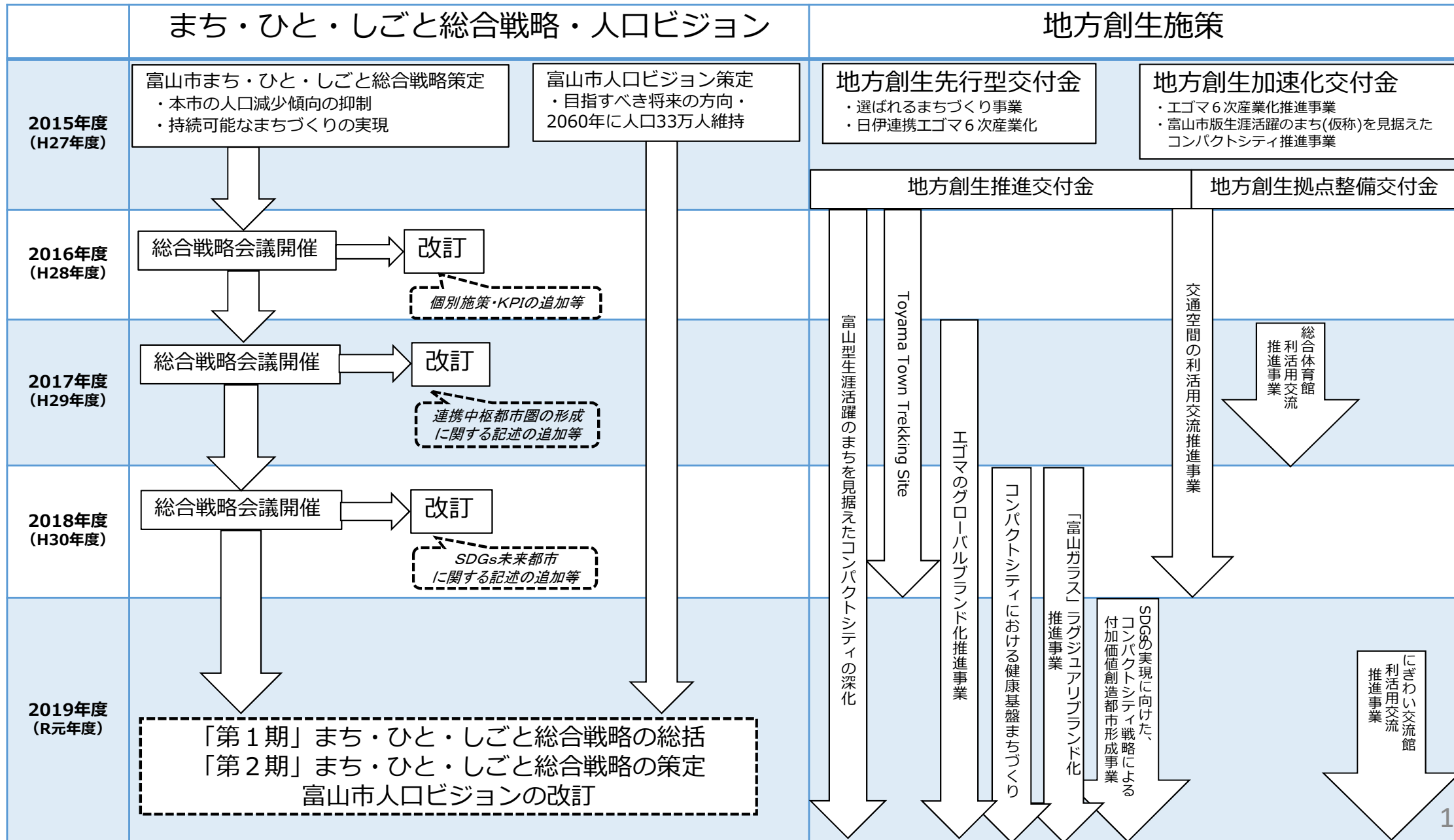


「第1期」富山市まち・ひと・しごと総合戦略の検証について

1. 地方創生の取組状況(2015～2019年度)
2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況
3. 「第1期」まち・ひと・しごと総合戦略の検証

1. 地方創生の取組状況(2015～2019年度)

本市の、今後の人口減少傾向を抑制し、長期的に持続可能なまちづくりを目指すため、2015年度に富山市まち・ひと・しごと総合戦略を策定し、地方創生の取組を推進



富山市まち・ひと・しごと総合戦略概要（2018.10改訂版）

人口ビジョン

富山市の人口推移

●総人口は今後減少局面へ

- 合併前の旧市町村を合わせた総人口は1950年に30万人を、1985年には40万人を超え、これまで一貫して増加
- 1990年頃からは人口の増加傾向が緩やかになり、2000年頃からはほぼ横ばいで推移しており、今後は減少に転じる見込み
- 2015年8月末現在人口：419,038人（2019年8月末現在人口：416,212人）

●自然動態

- 2004年までは、出生数が死亡数を上回る「自然増」、2005年以降は出生数より死亡数が上回る「自然減」
- 「自然減」に転じて以降は、出生数と死亡数の差は大きくなる一方であり、2013年には年間の出生数より死亡数が1,264人超過
- 少子高齢化の進行とともに、今後人口の自然減少が一層強まっていく見通し

●社会動態

- 2003年以降は転入者数が転出者数を上回る年が多く、2007年と2013年を除いて転入超過
- 転入者数及び転出者数の実数はともに減少傾向にあり、2014年には転出者数が近年で最も少ない10,750人（2018年12月末時点で、11年連続転入超過となっている）

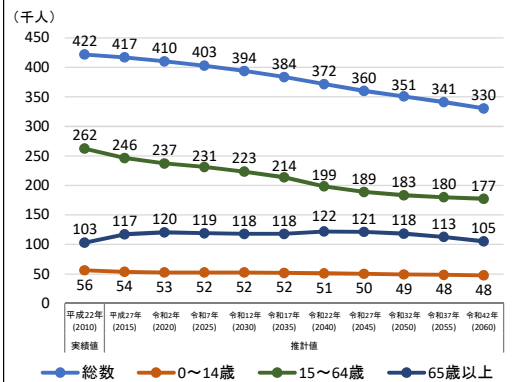
中長期的展望（2015年～2060年）

●目指すべき将来の展望

2060年に人口33万人程度（目標）

- 出生率の向上（富山市民の希望出生率である1.92を目標）
 - 人口社会増の維持
- ↓
- 50年前と同等の人口水準を維持

●富山市の目標人口



（注）純移動率：平成21年（2009）9月と平成26年（2014）9月の住民基本台帳人口から、移動率を算出（旧市町村ごと）将来にわたって傾向は変化しないと仮定。出生率：令和17年（2025）までに出生率が1.92まで上昇し、その後は変化しないものとして推計

総合戦略（平成27年度～令和元年度の5年間）

（基準値 → 令和元年度の目標値）

基本目標及び数値目標	基本的方向	具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)
基本目標1 安定した雇用を創出する ～地方の中核を担う都市として躍動するまち～ ●市内事業所従業員数 [H24年度] 217,643人 → [R元年度] 220,000人	(ア) 中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化 (イ) 新産業の創出及び公民連携による雇用の創出 (ウ) 農林水産業の成長産業化 (エ) サービス産業の活性化 (オ) 企業誘致の促進 (カ) 雇用のマッチングの強化 (キ) 企業に関する情報発信の充実 (ク) 地(知)の拠点大学との連携強化	●新商品等の販路開拓支援 [①ベンチャー企業等新商品市場創出促進助成金交付件数：4件(過去3年の平均) → 7件/年、②販路開拓総合支援件数：新規 → 5社/年] ●中小企業の創業等の支援 [創業者支援資金の新規融資件数：44件(過去3年の平均) → 50件/年] ●中心市街地における小学校跡地の活用 [新規雇用人数：新規 → 85人] ●オープンデータの活用促進 [オープンデータとして公開する情報資産：新規 → 80件] ●エゴマの8次産業化 [エゴマオイル関連商品等の展開による雇用創出：新規 → 30人] ●農業に関わる人材育成の支援 [①農業サポーター新規登録者：35人 → 200人、②農業サポート新規マッチング成約件数：19件 → 100件] ●薬用植物等の振興対策 [薬用植物等栽培面積(エゴマを除く)：4.2ha → 10ha] ●富山市型ヘルスケア産業の創出支援 [特別目的会社設立による新規雇用創出：新規 → 4名] ●企業立地の奨励 [①設備助成件数：40件/年 → 50件/年、②空き工場等用地マッチング成立件数：28件(過去4年の平均) → 30件/年] ●求職者への職業紹介 [富山市無料職業紹介所の求職者数：新規 → 2,400人/年] ●高いスキルを持つ65歳以上の高齢者との企業とのマッチング [富山市スーパーシニア活躍促進人材バンクのマッチング件数：新規 → 20件] ●若年者の就職支援 [企業説明会の参加者数：405人/年 → 660人/年]
基本目標2 交流・定住を促進し、富山市への新しい人の流れをつくる ～選ばれたまち～ ●人口の社会増(転入一転出) [R元年度] 1500人(過去5年間の社会増の維持) ●マルチハビテーションの推進 [H26年度] 3戸 → [R元年度] 10戸 ●交流人口(観光客入込数) [H26年度] 年間661万人 → [R元年度] 年間700万人	(ア) 地方移住の推進 (イ) 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致 (ウ) 地域資源を活用したコンテンツづくり (エ) 地(知)の拠点大学との連携強化(再掲) (オ) シティプロモーションの推進 (カ) シビックプライドの醸成	●中心市街地における小学校跡地の活用(再掲) [新たに整備される高等教育機関に通う生徒の数：新規 → 800人] ●「地域おこし協力隊」制度の活用 [地域おこし協力隊員：新規 → 5人] ●中古住宅の活用 [空き家情報バンク登録件数：2件 → 20件、仲介件数：10件] ●コンベンション開催支援 [コンベンション、合宿参加者数：40,447人/年 → 81,800人/年] ●外国人観光客の誘致促進 [市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数：88,153人/年 → 209,000人/年] ●富山ガラスのブランド化 [富山ガラス工芸売上高：125,379千円 → 130,000千円] ●新商品開発に取り組む事業者への商品力向上支援 [食やシリーズ(富山のお土産)販売数：20,000個 → 125,000個/5年間] ●選ばれたまちづくりの推進(シティプロモーション) [①シティプロモーション事業による富山市への来訪・イベント参加者数：累計728人 → 累計10,000人、②シティプロモーション事業による富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数：208,050人 → 293,000人] ●選ばれたまちづくりの推進(シビックプライドの醸成) [シビックプライド醸成事業への主体的参加者数：870人 → 累計10,000人] ●希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進 [①出前講座：新規 → 年20回、②フォーラム及びセミナー参加者数：新規 → 300人、③応援企業：新規 → 45社] ●切れ目のない子育て支援(ネットワーク) [①子育て世代包括支援センターの面談数：0か所 → 7か所、②子育て世代包括支援センターの個別支援者数：新規 → 8,000人/年] ●地域子育て支援拠点等の整備 [①子育て支援センターの開設数：12か所 → 15か所、②利用者(子育て)支援事業の実施数：1か所 → 5か所] ●地域児童の健全な育成と子育て支援 [利用延べ人数：432,000人 → 450,000人] ●生活保護世帯の子どもの及び児童相談施設に入所している子どもの進学奨励 [生活保護世帯の子どもの及び児童相談施設入所者の大学等進学者数：2人 → 10人] ●ひとり親家庭の子どもの進学奨励 [ひとり親家庭奨学資金給付事業を活用した大学等への進学者数：新規 → 10人/年]
基本目標3 生活環境の一層の充実を図る ～すべての世代が安心して暮らせるまち～ ●合計特殊出生率 [H25年度] 1.43 → [R元年度] 1.72 ●現在の健康状態について健康であると感じている市民の割合 [H25年度] 79% → [R元年度] 86% ●健康な高齢者の割合 [H26年度] 前期高齢者95.9% 後期高齢者65.7% → [R元年度] 前期高齢者96%以上維持 後期高齢者66%以上維持 ●保育ニーズの充足 [R元年度] 待機児童ゼロを維持	(ア) 子ども・子育て支援の充実 (イ) ワーク・ライフ・バランスの実現 (ウ) 総合的な生活支援サービスの提供 (エ) 健康都市の実現 (オ) 防災減災対策の推進	●雇用環境の改善促進 [訪問企業数：24社 → 24社(毎年訪問先を適宜見直すことで効果的に企業に働きかける)] ●地域包括ケアシステムの構築 [①まちなかサロン 利用者数：新規 → 250人/月、②地域連携室 多職種・市民啓発事業参加者数：新規 → 2,180人/年、③こども発達支援室 児童発達支援事業等延べ利用者数：新規 → 470人/月、④病児保育室 病児病後児及びお迎え型体調不良児保育利用者数：新規 → 830人/年、⑤カンパニールーム 事例検討数：新規 → 40件/月、⑥医療介護連携室 相談・支援者数：新規 → 720人/年、⑦まちなか診療所 在宅診療患者数：新規 → 80人/年、⑧産後ケア応援室 居室・集団・個別利用者数：新規 → 2,972人/年] ●高齢者の外出機会促進 [①落とかけ支援事業による入場者数、本事業対象施設(ガラス美術館を含む主要10施設)の総入場者数の8.4% → 10% ②おでかけ定期券の1日延べ平均利用者数：2,634人 → 2,800人] ●ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上 [共通プラットフォームへの情報提供件数：新規 → 800件/年] ●市民の主体的な健康づくりの推進 [健康であると感じる市民の割合：79.0% → 86%] ●レジリエントシティの推進 [レジリエンス戦略の策定(平成28年度新規)] ●自主防災組織の育成支援 [自主防災組織の組織率：86.0%(平成27年8月末までの実績) → 70%] ●中心市街地の活性化及びまちなかの賑わい創出 [①ランドプラザ年間稼働率：82.4% → 100%、②TOYAMAキラリ公益施設の来館者数：新規 → 710,000人/年] ●中心市街地における大型商業施設等の誘致 [新たに大型商業施設等を誘致する件数：新規 → 5件] ●路面電車の整備による交通体系構築 [路面電車(市内電車及び富山ライトレール)の利用者数：16,775人/日(平成25年度平均) → 20,000人/日] ●まちなか居住の推進 [まちなか居住推進事業により定住化した世帯数：102世帯 → 800世帯] ●公共交通沿線の居住推進 [公共交通沿線居住推進事業により定住化した世帯数：68世帯 → 350世帯] ●中山間地域等の交通空白地域解消と生活交通の維持 [公共交通空白地域人口率：2.3% → 2.3%] ●公共施設のファシリテイメントの推進 [公共施設の統廃合および業務内容の見直し：10件 → 48件] ●オープン・リノベーションの推進 [公共施設のリノベーションによるビジネスの拠点を創出：新規 → 2件] ●歩道のリフレッシュ整備 [歩道のリフレッシュ整備延長：2.0km(社会資本整備計画に基づく整備)]
基本目標4 公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを進める ～コンパクトシティの推進～ ●沿線(公共交通が便利な地域に住む)居住人口の割合 [H26年度] 32% → [R元年度] 38.6% ●中心市街地における人口の社会増(転入一転出) [H26年度] 78人/年 → [R元年度] 390人 ●公共交通1日平均利用者数の富山市人口当たりの割合 [H25年度] 13.7% → [R元年度] 15.3% ●富山駅周辺地区の歩行者数 [H26年度] 平日 38,924人 日曜 30,420人 → [R元年度] 4,000人程度の増加 ●総曲輪通りの歩行者数 [H25年度] 日曜日 19,075人 → [R元年] 2,000人程度の増加	(イ) 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導 (ウ) 中山間地域等の地域生活拠点の形成 (エ) 既存施設のマネジメント強化	

2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況

「第1期」総合戦略の成果の検証にあたって、数値目標及びKPIの進捗を下記に分類し、達成状況を分析

A. 目標達成に向けて進捗している

◎. 2018年度末時点で目標を達成している (■)

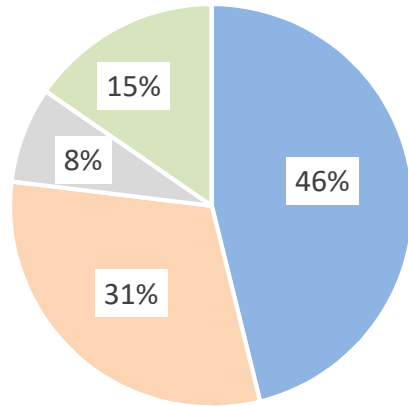
○. 2018年度末時点で目標を達成していないものの、2019年度に目標を達成する見込み (■)

B. 現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現しておらず、目標の達成に至らないもの (■)

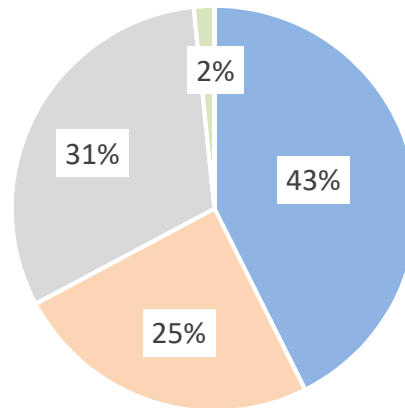
C. 現時点において、統計上の実績値を把握するための調査時期が到来していないもの (■)

基本目標の数値目標(13件)と各種施策のKPI(61件)進捗状況

＜基本目標の数値目標＞



＜各種施策KPI＞



目標達成に向けて概ね進捗している
(A◎とA○割合)

基本目標：77%

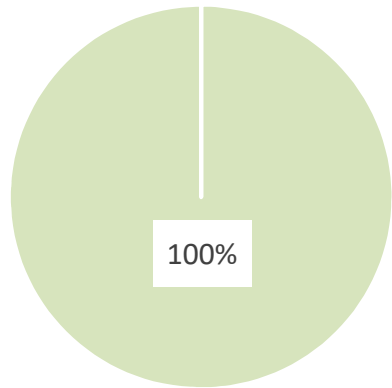
各種施策：68%

	基本目標の数値目標		各種施策のKPI	
A◎ (目標達成)	6件	(46%)	26件	(43%)
A○ (目標達成見込)	4件	(31%)	15件	(25%)
B (目標達成に至らない)	1件	(8%)	19件	(31%)
対目標率70%以上	1件	(8%)	4件	(6%)
対目標率70%未満	0件	(0%)	15件	(25%)
C (調査時期未到来)	2件	(15%)	1件	(2%)
合計	13件	(100%)	61件	(100%)

2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況

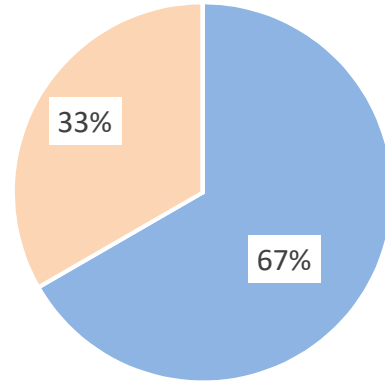
(1) 各基本目標の数値目標(2019年度目標)の進捗状況

<基本目標1> 安定した雇用の創出



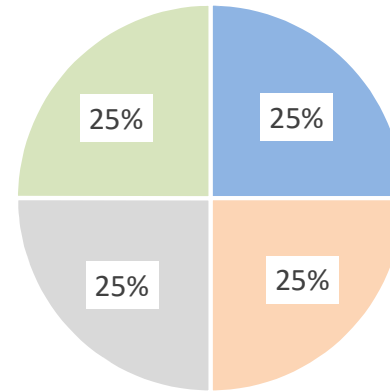
数値目標：1件

<基本目標2> 新しい人の流れをつくる



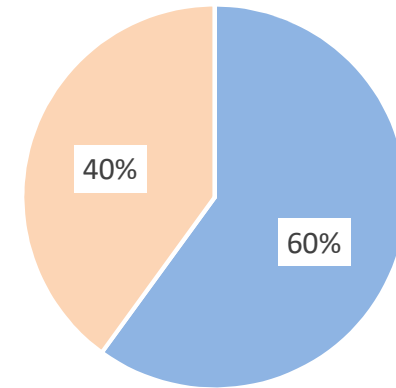
数値目標：3件

<基本目標3> 生活環境の一層の充実



数値目標：4件

<基本目標4> コンパクトなまちづくり



数値目標：5件

■ A◎(目標達成)
■ AO(目標達成見込)
■ B(目標達成に至らない)
■ C(調査時期未到来)

市内事業所従事者数
：220,000人(2019年度)

217,643人(2012年度推計)
➔217,688人(2016年度推計)

人口の社会増
：1,500人(2015~2019年度計)

1,454人(2010~2014年度計)
➔3,416人(2015~2018年度計)

合計特殊出生率
：1.72(2019年度)

1.43(2013年度)
➔1.54(2017年度)

公共交通1日の平均利用者数の人口あたりの割合
：15.3%(2019年度)

13.7%(2013年度)
➔15.7%(2018年度)

交流人口(観光客入込数)
：700万人(2019年度)

661万人(2014年度)
➔798万人(2018年度)

保育二一ズの充足
：待機児童ゼロ(2019年度)

待機児童ゼロ(2015年度)
➔待機児童ゼロ(2018年度)

富山駅周辺地区の歩行者数
：平日・日曜4,000人程度の増加(2019年度)

平日38,924人/日 日曜30,420人/日(2014年度)
➔平日32,265人/日 日曜34,947人/日(2018年度)

2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2019年度目標) の進捗状況

<基本目標1> 安定した雇用の創出 基本的方向・具体的な施策

(ア) 中小企業の振興及び既存産業の高付加価値化

- ・新商品等の販路開拓支援
- ・中小企業の創業等の支援

(イ) 新産業の創出及び公民連携による雇用の創出

- ・中心市街地における小学校跡地の活用・オープンデータの活用促進

(ウ) 農林水産業の成長産業化

- ・えごまの6次産業化
- ・農業に関わる人材育成の支援
- ・薬用植物等の振興対策

(エ) サービス産業の活性化

- ・富山市型ヘルスケア産業の創出支援

(オ) 企業誘致の促進

- ・企業立地の奨励

(カ) 雇用のマッチング強化

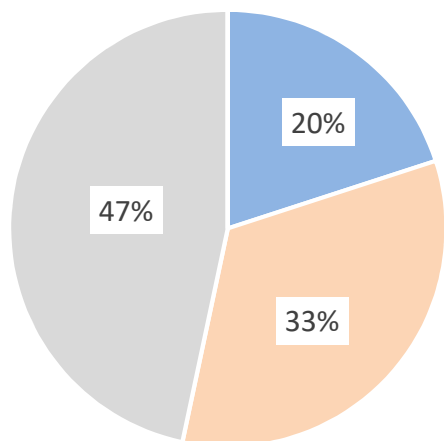
- ・求職者への職業紹介
- ・高いスキルを持つ65歳以上の高齢者と企業のマッチング

(キ) 企業に関する情報発信の充実

- ・若年者の就職支援

(ク) 地(知)の拠点大学との連携強化

各種施策のKPI進捗状況



KPI : 15件

- A◎(目標達成) : 3件
- A○(目標達成見込) : 5件
- B(目標達成に至らない) : 7件
- C(調査時期未到来) : 0件

目標の達成に向けて進捗している(A◎・A○)

若年者の就職支援(企業説明会の参加者数)

: 650人/年(2019年度)

405人/年(2014年度) → **661人/年(2018年度)**

高いスキルを持つ65歳以上の高齢者と企業のマッチング

: 20件(2019年度)

新規 → **15件(2015~2018年度)**

目標の達成に至らない事業(B)

求職者への職業紹介(富山市無料職業紹介所の来所者数)

: 2,400人/年(2019年度)

新規 → **1,943人/年(2018年度)**

2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2019年度目標) の進捗状況

<基本目標2> 新しい人の流れをつくる 基本的方向・具体的な施策

(ア) 地方移住の推進

- ・ 中心市街地における小学校跡地の活用 (再掲)
- ・ 「地域おこし協力隊」制度の活用
- ・ 中古住宅の活用

(イ) 広域型観光の推進と外国人観光客の誘致

- ・ コンベンション開催支援
- ・ 外国人観光客の誘致促進

(ウ) 地域資源を活用したコンテンツづくり

- ・ 富山ガラスのブランド化
- ・ 新商品開発に取り組む事業者への商品力向上支援

(エ) 地(知)の拠点大学との連携強化 (再掲)

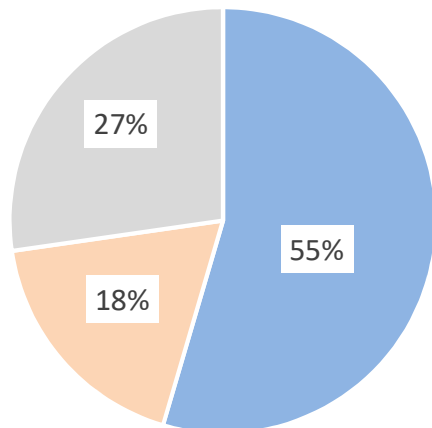
(オ) シティプロモーションの推進

- ・ 選ばれるまちづくりの推進 (シティプロモーション)

(カ) シビックプライドの醸成

- ・ 選ばれるまちづくりの推進 (シビックプライドの醸成)

各種施策のKPI進捗状況



KPI : 11件

- A◎ (目標達成) : 6件
- AO (目標達成見込) : 2件
- B (目標達成に至らない) : 3件
- C (調査時期未到来) : 0件

目標の達成に向けて進捗している(A◎・AO)

外国人観光客の誘致促進 (市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数)

: 209,000人/年 (2019年度)

88,153人/年 (2014年度) → 236,334人/年(2018年度)

選ばれるまちづくりの推進 (シティプロモーション事業における本市への来訪者数等)

: 10,000人 (2014~2019年度)

726人 (2014年度) → 10,478人(2014~2018年度)

目標の達成に至らない事業(B)

中古住宅の活用 (空き家情報バンクへの登録件数)

: 20件/年 (2019年度)

2件 (2014年度) → 5件/年(2018年度)

2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況

(2) 各種施策のKPI (2019年度目標) の進捗状況

<基本目標3> 生活環境の一層の充実 基本的方向・具体的な施策

(ア) 子ども・子育て支援の充実

- ・希望する時期に妊娠・出産できる環境づくりの推進
- ・切れ目ない子育て支援（ネウボラ）
- ・地域子育て支援拠点等の整備
- ・地域児童の健全な育成と子育て支援
- ・生活保護世帯の子ども及び児童養護施設に入所しているこどもの進学奨励
- ・ひとり親家庭の子どもの進学奨励

(イ) ワーク・ライフ・バランスの実現

- ・雇用環境の改善促進

(ウ) 総合的な生活支援サービスの提供

- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・高齢者の外出機会促進
- ・ライフライン共通プラットフォームによる暮らしの質の向上

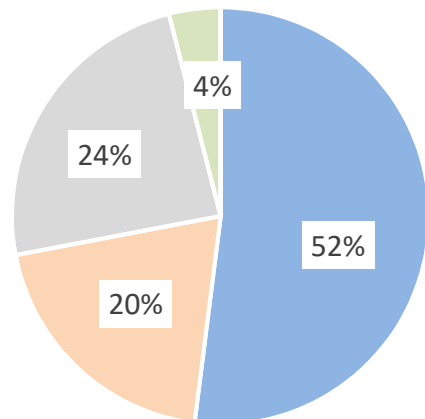
(エ) 健康都市の実現

- ・市民の主体的な健康づくりの推進

(オ) 防災減災対策の推進

- ・レジリエント・シティの推進
- ・自主防災組織の育成支援

各種施策のKPI進捗状況



KPI : 25件

- A◎(目標達成) : 13件
- AO(目標達成見込) : 5件
- B(目標達成に至らない) : 6件
- C(調査時期未到来) : 1件

目標の達成に向けて進捗している(A◎・AO)

地域包括ケアシステムの構築（まちなかサロン利用者数）

：250人/月（2019年度）

新規 → 805人/月(2018年度)

高齢者の外出機会促進（おでかけ定期券の1日平均延べ利用者数）

：2,800人/日（2019年度）

2,634人/日（2014年度） → 2,755人/日(2018年度)

目標の達成に至らない事業(B)

地域包括ケアシステムの構築（産後ケア応援室【個室・集団・個別】利用者数）

：2,972人/年（2019年度）

新規 → 1,031人/年(2018年度)

2. 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の進捗状況

(2) 各種施策のKPI(2019年度目標)の進捗状況

<基本目標4>コンパクトなまちづくり 基本的方向・具体的な施策

(ア) 公共交通と中心市街地の活性化

- ・ 中心市街地の活性化及びまちなかの賑わい創出
- ・ 中心市街地における大型商業施設等の誘致
- ・ 路面電車の整備による交通体系構築

(イ) 中心市街地と公共交通沿線居住推進地区への居住誘導

- ・ まちなか居住の推進
- ・ 公共交通沿線の居住推進

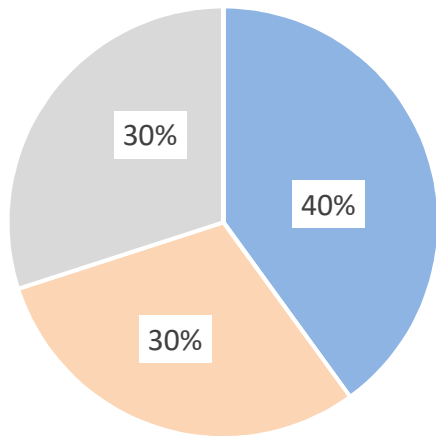
(ウ) 中山間地域等の地域生活拠点の形成

- ・ 中山間地域等の交通空白地域解消と生活交通の維持

(エ) 既存施設のマネジメント強化

- ・ 公共施設のファシリティマネジメントの推進
- ・ オープン・リノベーションの推進
- ・ 歩道のリフレッシュ整備

各種施策のKPI進捗状況



KPI : 10件

- A◎(目標達成) : 4件
- AO(目標達成見込) : 3件
- B(目標達成に至らない) : 3件
- C(調査時期未到来) : 0件

目標の達成に向けて進捗している(A◎・AO)

路面電車の設備による交通体系構築(路面電車及びライトレール利用者)
: 20,000人/日(2019年度)
17,455人/日(2013年度) → **20,084人/日(2018年度)**

まちなか居住の推進(まちなか居住推進事業の補助を受けた世帯数)
: 500世帯(2015~2019年度)
102世帯(2014年度) → **411世帯(2015~2018年度)**

目標の達成に至らない事業(B)

中心市街地における大型商業施設等の誘致(大型商業施設等の誘致件数)
: 5件(2015~2019年度)
新規 → **4件(2015~2018年度)**

3. 「第1期」まち・ひと・しごと総合戦略の検証

「第1期」総合戦略について

1 基本目標に定める目標数値について

- ・全体の7割以上が「達成（A◎）」または「達成見込み（AO）」となっている
- ・基本目標1・3で設定した数値目標では、当初期待した成果が出ていない項目もある

2 各施策のKPI（重要業績評価指標）について

- ・「達成」または「達成見込み」は全体の7割弱となっているが、目標達成が難しいもの（評価「B」）であっても対目標率が70%以上のものもあり、これらを含めると、全体の7割を超えている
- ・目標達成ができていない取組としては、小規模企業の販路開拓支援件数や出前講座の開催件数など、企業や市民からの申し込み状況により、結果が左右されるものが多いという傾向がある

3 全体について

- ・様々な取組の成果が一定程度現れていると考えている、本市の取組のみでは効果が出ない側面もあり、目指すべき社会の実現に向け、新たな視点も取り入れながら各施策の一層の推進を図る必要があるのではないか
- ・評価が難しい取組（C）については、指標の設定方法にも工夫や見直しが必要ではないか

- ・4つの基本目標の維持
- ・数値目標やKPIの進捗状況を踏まえた施策等の一層の推進
- ・新しいテーマの追加

目指すべき社会の実現に向けた各種施策の展開